

外科

臨床研修期間(2年間)	
病院名 (59病院)	医療圏
横浜労災病院	横浜
昭和大学藤が丘病院	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
横浜旭中央総合病院	
菊名記念病院	
汐田総合病院	
昭和大学横浜市北部病院	
済生会横浜市東部病院	
済生会横浜市南部病院	
横浜南共済病院	
横浜栄共済病院	
横浜市立大学附属病院	
横浜市立みなと赤十字病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	
横浜中央病院	
けいゆう病院	
横浜医療センター	
横浜市立市民病院	
国際親善総合病院	
戸塚共立第1病院	
東戸塚記念病院	
聖隷横浜病院	
帝京大学医学部附属溝口病院	
聖マリアンナ医科大学病院	
川崎市立多摩病院	
新百合ヶ丘総合病院	
関東労災病院	川崎南部
川崎市立川崎病院	
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	
川崎協同病院	
川崎市立井田病院	
日本医科大学武蔵小杉病院	
川崎幸病院	
相模原病院	相模原
北里大学病院	
相模原協同病院	
横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦
横須賀共済病院	
横須賀市立市民病院	
湘南鎌倉総合病院	湘南東部
大船中央病院	
藤沢市民病院	
湘南藤沢徳洲会病院	
藤沢湘南台病院	湘南西部
湘南東部総合病院	
茅ヶ崎市立病院	
平塚市民病院	
平塚共済病院	
東海大学医学部付属病院	
伊勢原協同病院	
秦野赤十字病院	県央
大和市立病院	
海老名総合病院	
厚木市立病院	
東名厚木病院	県西
湘南厚木病院	
小田原市立病院	
山近記念総合病院	
神奈川県立足柄上病院	

専門医研修期間(標準3年間)		
基幹施設名(19病院)	医療圏	基幹・連携施設名
昭和大学横浜市北部病院	横浜	戸塚共立第2病院
		相模原協同病院
		横浜旭中央総合病院
		横浜栄共済病院
		昭和大学藤が丘病院
		大船中央病院
		済生会神奈川県病院
		平塚市民病院
		横浜市立大学附属病院
		戸塚共立第2病院
済生会横浜市東部病院	横浜	相模原病院
		相模原病院
横浜医療センター	横浜	相模原病院
		相模原病院
横浜市立市民病院	横浜	相模原病院
		相模原病院
横浜市立みなと赤十字病院	横浜	相模原病院
		相模原病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
横浜市立大学附属病院	横浜	相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院
		相模原病院

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)			
医療圏2	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)
1401横浜北部	横浜労災病院	650	小児科: 当科では専攻医(1年目)を数名採用してきたが、新専門医制度が開始となり、当科族時の採用枠への応募が0となってしまう、現在は横浜市下小児科から派遣のみとなってしまうため。
1401横浜北部	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まる事が予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。
1401横浜北部	済生会横浜市東部病院	562	当院は横浜市東部地域の中核病院です。救命救急センター、小児救急、参加救急などを行っています。症例数、指導医数も十分であり、地域枠の医師を育成するのに協力させていただきたいと考えております。 当院はすべての診療科を有する病院であり、若い医師の経験と研修に適すると考えます。 一方で病診連携や地域医療なども学ぶことができると考えます。
1401横浜北部	菊名記念病院	218	当院は横浜市方東部に位置する中規模病院で、地域に根ざした医療を行っています。神奈川県内の地域医療へ直接寄与する医師の専門医取得といった要望にも応えたいと考えています。医師にとって有益な仕組みを準備すると共に、多くの症例を経験できるように体制を整えています。
1402横浜西部	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター	726	
1402横浜西部	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いとっており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。
1402横浜西部	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜保土ヶ谷中央病院	236	当院は、横浜市二次救急医療に携わる病床数236床の急性期病院です。昭和30年の開設で、平成26年に独立行政法人地域医療機能推進機構横浜保土ヶ谷中央病院となりました。保土ヶ谷区の中心的病院として医療を提供しており、急性期としてHCU8床・手術室5室・透析23床を備え、内科・外科・整形外科に加え泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科など、多数の診療科で質の高い医療を行っています。

		横浜市立みなと赤十字病院 茅ヶ崎中央病院 横浜医療センター				また、地域包括ケア病棟(31床)、訪問看護ステーションを併設しています。
済生会横浜市南部病院	横浜	横浜市立大学附属市民総合医療センター 横浜市立大学附属病院 横須賀共済病院 港南台病院	1402横浜西部	社会福祉法人親善福祉協会 国際親善総合病院	287	大学医局に派遣を依頼しているが充足されず欠員が生じているため。 一部直接採用のみの科もあるが不十分。
聖マリアンナ医科大学病院	川崎西部	神奈川県立こども医療センター 衣笠病院 相模原協同病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 神奈川県立がんセンター 横浜総合病院 聖マリアンナ医科大学東横病院 川崎市立多摩病院	1402横浜西部	神奈川県立がんセンター	415	
川崎市立川崎病院	川崎西部	湘南東部総合病院 川崎市立井田病院	1402横浜西部	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	410	今後のリクルート活動(専攻医獲得)の一環として受け入れたい。
川崎幸病院	川崎西部	※県内連携施設なし	1403横浜南部	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	674	
北里大学病院	相模原	済生会横浜市東部病院 けいゆう病院 平塚市民病院 総合相模更生病院 相模原協同病院 さがみ林間病院 相模野病院 相模原赤十字病院 大和市立病院 相模台病院 海老名総合病院 川崎市立川崎病院 関東労災病院 相模原病院 横浜旭中央総合病院	1403横浜南部	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	565	小児科:一般診療科から専門診療、新生児・周産期医療まで幅広く研修が可能です。小児救急も行っています。しっかり勉強する時間も作れます。デメリットとして、当院は小児研修基幹施設ではないので、後期研修施設として小児科専門医を取得するためのキャリアアップにはなりません。
相模原協同病院	相模原	北里大学病院 相模原病院	1403横浜南部	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院	250	当院に所属する各学会の指導医・専門医のもとで地域医療における多岐にわたる症例を経験することが出来る。特に内科は各内科系診療科を複数有し、より専門性の高い診療を実践することが出来る。外科においては手術・手技・周術期管理を学ぶことが出来、化学療法、栄養管理、緩和ケアの基本を学び、幅の広い診療を経験することが出来る。麻酔科においては神経ブロックに力を入れており症例数も豊富であり、十分な経験を積むことができる。
横須賀共済病院	横須賀E三浦	横浜市立大学附属病院 衣笠病院 横須賀市立うわまち病院 三浦市立病院 済生会横浜市南部病院 横浜共済病院 横浜市立市民病院 横浜市立みなと赤十字病院	1403横浜南部	医療法人裕徳会 港南台病院	84	法人内に急性期病院、地域包括ケア病院、介護老健、有料老人ホーム、グループホーム、訪問看護ステーションがあり、都市型の地域医療を実践していくうえで、当法人ならではのユニークな経験を積むことができます。経験と指導能力に富む内科医師、外科医師に加え特に済生会横浜市南部病院と連携しながら診療を行っており、日本外科学会関連施設でもあることから、外科専門医制度と関連付けられた研修を積むことも可能です。キャリアの早い段階にこのような包括的な経験を積むことは、これからの新たな地域医療を実践する若手医師の成長に大きく寄与できるものと考えます。
湘南鎌倉総合病院	横須賀E三浦	湘南藤沢徳洲会病院 湘南厚木病院 大和徳洲会病院	1403横浜南部	横浜中央病院	151	当院は1896年(明治29年)創立の歴史のある病院です。元来は船員の方の為に病院でしたが、現在は地域の住民の皆様の医療の充実及び健康の増進に尽力し、社会福祉面でも貢献しています。これからの、地域包括ケアシステム(医療と介護の連携)に積極的に取り組んでいます。特に消化器内科・血液内科・呼吸器内科及び消化器外科志望の医師が最適である。
藤沢市民病院	湘南東部	横浜市立大学附属病院 湘南中央病院	1403横浜南部	横浜掖済会病院	500	横浜市南部地域の基幹病院として31の診療科と約150名の常勤医師を擁しており、日々高いレベルの医療を提供しつつ、また同様に高い教育水準を維持しております。 一方、医師働き方改革の対応をはじめ(労働時間と自己研鑽の区別、宿日直許可申請、当直明けの扱い)、他にも妊娠・子育て中の医師の当直免除や短時間勤務制度等の制度が充実しております。パパ育休の取得率が対象者の50%以上いるなど、ライフステージに合わせた専門研修を行うことができます。 なお、当院は横浜市立大学からの派遣医師がほとんどなので、当院を希望する医師については、同じ県内大学同士なので近しいリレーションシップを構築することが可能です。
東海大学医学部付属病院	湘南西部	湘南大磯病院 平塚市民病院 山近記念総合病院 大和市立病院 神奈川県立がんセンター	1404川崎北部	医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院	563	「地域医療への貢献」、「高度先端医療の実践」、「最良の安心を得られる医療」を目標に掲げ、救急患者を積極的に受け入れており、様々な救急疾患に対応できる能力を養うことができます。また最先端の医療機器を備え、高度な先進医療や予防医学を実践し、がん診療にも貢献しています。常勤医師210名超体制のもと、研修体制が充実しており、働き方改革に沿った勤務ができます。
平塚市民病院	湘南西部	湘南平塚下肢静脈瘤クリニック 湘南平塚下肢静脈瘤クリニック 伊勢原協同病院 国立病院機構神奈川病院	1405川崎南部	川崎医療生活協同組合 川崎協同病院	267	神奈川県内への医師定着を促進させるため、受入を希望いたします。希望した4科は指導医体制も整っており、専攻医を受け入れる条件が整っています。また、専攻医を受け入れることで、各科が活性化し、レベルアップできるきっかけになればと
海老名総合病院	県央	東名厚木病院				

			思い受入を希望いたしました。	に問題を解決し健康づくりに取り組むことを大切にしています。
1405川崎南部	川崎市立川崎病院	713	二次医療圏としては、川崎は南部と北部の二つの医療圏があるが、患者の実態としては南部(川崎市・幸区)、中部(中原区・高津区)、北部(その他三区)に分かれており、二次医療圏としての南部は中原区の二大病院によって対人口比で全国平均を超えている。当院のある川崎区は必ずしも十分な医師がいるわけではない(無論県西部に比して多いと思われるが)、またJRより海側の横浜市鶴見区も当院のカバーエリアであり、こちらも決して医師が充足しているわけではない。そうした立地の中で拠点病院として診療を行う上で、現状の人員では必ずしも充足しているとはいえないので今回希望した。	伝統的に一内科制をとることで、診療の垣根を越えて一人の患者に複数の専門家の助言を受けて診療することになる。結果として視野の広い医師の育成に務めている。また多くのサスペンシャリティの教育研修機関として学会の認定を受けている。
1405川崎南部	医療法人社団和光会 総合川崎臨港病院	199	人材の確保 地域に根づいた診療を行う上で、実情を理解した医師を採用したい。	医師のQOLを優先しており、ご自身の希望に沿った勤務が可能となるよう条件提示しております。
1405川崎南部	医療法人社団清恵会 田村外科 病院	33	県医師会理事として、地域枠医師の実態を知るため	地域密着型の「かかりつけ医」とは、どんな姿なのかを知っていただく良い機会になると思います。
1405川崎南部	日本鋼管病院	395	診療体制強化のため。 地域に根付いた、長く勤務いただける医師を確保するため。	当院は開設以来85年間に渡り川崎市川崎区で地域に根ざした運営を続けている、急性期と地域包括ケア病棟からなる二次救急病院です。 内科は後期研修プログラムを有し、専門医を目指す医師が切磋琢磨しています。
1410相模原	北里大学病院	1140	○ 総合診療部指導医数は、1名。総合診療内科指導医数は2名在籍している。(総合診療部) ○ 病院総合診療及び地域診療(在宅を含む)を含めた教育指導体制があり、地域枠医師の希望があれば受け入れたい。(総合診療部)	○ 大学病院内科総合外来における外来研修を受けることができる。(総合診療部) ○ 大学病院総合診療部と連携している在宅診療施設や、療養病院での研修および漢方外来研修や緩和センターにおける研修も可能。(総合診療部)
1410相模原	独立行政法人国立病院機構 相模原病院	458	相模原病院は免疫異常(リウマチ、アレルギー)高度専門医療で、全国に2か所のアレルギー疾患中心拠点(他国立成育医療研究センター)に指定されています。また、神奈川県の中核病院として、がん診療連携指定病院、災害協力病院、地域医療支援病院といった役割も担っています。このため、初期研修に引き続いて神奈川県内で活躍する後期研修医の確保・教育に貢献したいと考えております。	当院は世界で一番多くの食物アレルギーの患者さんを診療しています。 アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎など他のアレルギー疾患も多数診療しています。当院小児科ではアレルギー疾患に関する専門的な知識を学ぶことが可能です。また、小児一般疾患に関しては相模原市の二次医療の当番の半分を引き受けており、幅広い疾患を見ることが可能です。
1410相模原	相模原赤十字病院附属相模原市 立藤野診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
1410相模原	相模原赤十字病院附属相模原市 立青野原診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
1410相模原	相模原赤十字病院附属相模原市 立千木良診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
1406横須賀・三浦	三浦市立病院	136	横須賀・三浦の医療圏において医師確保がなされているのは、大学医局からの派遣を受け入れている中核病院に限られています。 地域医療の要である地域密着型の中小病院が地域医療を守るためには医師の確保が必要です。	「三浦ならではの」地域医療を進めている当院では本物の地域医療を学ぶ場としての環境が整っています。 また、地域の中核病院や大学からの専門医派遣により専門外来(循環器、呼吸器、神内、消化器、糖尿病、脳外、耳鼻いんこう科、泌尿器科、皮膚科など)を開いており、院内で相談指導を受けられる体制ともなっています。 ぜひ地域医療に関心のある医師をお待ちしています。
1406横須賀・三浦	公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	417	症例が豊富であり、指導医も多数在籍していることから、地域枠医師の修練に適切であるため、受け入れを希望いたします。 内科・産婦人科系は医師数が充分とは言えず、二次医療圏の医師数の状況を踏まえても更なる増員が必要であると考えます。小児科に関しては、地域周産期母子医療センターであることから、より高度な医療の提供が必要であり、更なる医師の確保が必要であると考えます。	三浦半島80万人医療圏の中の中核的な病院です。 救急車台数も年間約6000台であり、2次、3次に特化した総合病院であるため、症例が豊富であり、それを支える指導医も豊富です。 派遣された医師が臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した仕事ができ、社会に役立てるように配慮していきます。
1406横須賀・三浦	医療法人横浜柏堤病院 よこすか浦賀病院	99	-	-

1406	横須賀・三浦	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	669	神奈川県での医療を継続して担う人材を確保・育成したい為。	超急性期病院として24時間、365日すべての救急車収容要請を受け入れるを実践しており、豊富な臨床経験を積むことが出来ます。現在当院では、がん診療はもとより、世界的に新しいカテーテル、ロボット手術、心臓手術、内視鏡的外科手術、トモセラピー・陽子線といった高精度放射線治療、さらには臓器移植、再生医療など次世代の新しい治療を提供できる病院として運営しております。
1407	湘南東部	藤沢市民病院	536	—	—
1407	湘南東部	医療法人社団若林会 湘南中央病院	199	地域医療を希望する医師の確保	当院は回復期リハビリテーション病棟、急性期病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟、緩和ケア病棟を有し、院内には在宅診療科、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設しており地域医療を実践しています。後方支援として同法人設立の介護老人保健施設もあります。また、県、市からの要請により地域の医療確保に向け万全の体制で臨む医療機関です。
1407	湘南東部	一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院	330	地域医療へ質の高い医療の提供を継続して行い、若手医師を育成して神奈川県を安心安全に貢献する為。	手技検査など指導のもと、専攻医には主治医として多くの経験と治療計画の決定をして頂きます。コンサルタントがしやすい環境でありますので、医師、看護師、医療技術者との連携がスムーズに行えます。
1407	湘南東部	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的にやりたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
1408	湘南西部	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
1408	湘南西部	東海大学医学部附属大磯病院	312		
1409	県央	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	479	当院は、昭和58年地域の皆様に誘致頂く形で海老名市に開院致しました。これまで神奈川県県央地域の中核的医療機関として地域に医療提供を行って参りました。従来以上に医療を通じた地域貢献を果たしていく為にも受入れを希望しております。	当院は、神奈川県海老名市に加え、座間市、綾瀬市を含む県央地域約34万人の診療圏を有する急性期中核病院です。平成29年には県央地域初の救命救急センターを開設し、更なる高度急性期医療を提供できるよう日々取り組んでおります。各診療科において専門性の高い医師が多く在籍しておりますので、数多くの様々な症例を積む事が可能です。
1409	県央	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 座間総合病院	352	当院は、座間市の「救急医療の立て直し」という使命の下、市内で3施設目の2次救急病院として平成28年4月にオープン致しました。若い先生方と共に、更なる救急医療の強化を図り、地域貢献して参りたいと考えております。	当院は、グループ施設の海老名総合病院の臨床研修医の受入も行っており、研修医からは「一医師として診療にあたることができ、やりがいを感じる」とどの科においてもその様な感想を得ております。経験に関係なく、先生方の力を遺憾なく発揮頂ける環境を整えております。
1409	県央	湘南厚木病院	253	十分な症例数があり、指導体制も整っているため	地域の急性期総合病院として、専門性・緊急性の高い疾患はもちろんのこと、Common diseaseまで幅広い疾患を数多く経験することができる。
1411	県西	小田原市立病院	417	当院は、県西地域の基幹病院として、26の診療科を備え、急性期、高度医療や救急 医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。	当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や 病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れています。また、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っています。
1411	県西	医療法人 小林病院	163	将来の医師の育成に貢献することにより地域医療の充実の一助となるよう努めたく、この度の受入を希望させていただきます。	「人に優しく」をスローガンに、多職種協働によるシームレスな医療を提供しております。また、職員一人ひとりの幸福の追求と働きやすい職場づくりに努めております。
1411	県西	神奈川県立足柄上病院	296	県西医療圏は県内でもより早期に高齢化・人口減少が起きているが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要であるため。	generalな力を持った総合診療の良い指導医がおり、横浜市大との連携で実務年限終了後に関してもキャリア継続が初期。新型コロナウイルス対策では、県の重点医療機関として流行の初期より患者受入に努め、県の医療体制維持に貢献している。

